

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年1月29日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

- 司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。
- 大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (2) 第56回の原子力規制委員会定例会が、明日1月30日水曜日の午前中に開催される予定でございます。議題は2件予定されております。

まず、議題1「国際原子力機関（IAEA）の総合規制評価サービス（IRRS）ミッションの勧告・提言及び自己評価に基づく行動計画への対応状況・対応方針について」。こちらは平成28年に受け入れましたIRRSミッション、また、それに続く勧告・提言等への対応状況について、今後、フォローアップミッションを受け入れることとしておりますけれども、IRRSミッションのフォローアップミッションの受け入れに向けた準備といたしまして、その勧告・提言などへの対応状況、対応方針などにつきまして、原子力規制庁において整理をいたしましたので、これについて委員会に御報告をし、審議をいただくというものでございます。

次に、議題2「九州電力株式会社玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可申請について－使用済燃料プールの貯蔵能力の変更、使用済燃料乾式貯蔵施設の設置－」。こちらは九州電力・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉に関しまして、記載のとおり、使用済燃料プールの貯蔵能力の変更、「リラッキング」と呼ばれておりますが、これに関するこちらは補正の許可申請、また、使用済燃料乾式貯蔵施設の設置に係る許可申請、これらの申請が1月22日に提出をされたところでございますので、これらにつきまして、概要を委員会に御報告をするというものでございます。

次に、広報日程の2ページ目中段でございます。2月4日月曜日、(4) 第35回の技術情報検討会、こちらが4日の午後開催される予定でございます。こちらの検討会は、御案内のとおり、国内外の事故・トラブル情報、あるいは科学的・技術的知見などにつきまして、規制に反映させる必要性の有無について検討・スクリーニングを行っているものでございます。

今回も、議題1にありますような事故・トラブル情報、また、議題2にございます調査・研究等から得られる最新知見、また、議題3にございます規制活動等から得られた知見、

これらにつきましてスクリーニングを行うことにつきまして、スクリーニングの内容につきまして報告をし、議論をするというものでございます。

また、議題4にございますが、それらの制度等への反映に向けた進捗の状況についても報告をし、共有をするという予定でございます。

私からの御説明は以上でございます。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手をお挙げください。御質問はございますでしょうか。では、どうぞ。

○記者 NHKのオオサキです。

明日の議題の1つ目のところをもう少し背景とか、具体的に教えていただきたいのですが、IRRSミッションの勧告についての対応方針というのは、どういうものなのか。

○大熊総務課長 IRRSミッションがどういうものなのか。

○記者 IRRSミッションの勧告に基づく行動計画の対応状況・対応方針についてということなのが、もう少し具体的に分かったら教えていただけますか。

○大熊総務課長 こちらのIRRSミッションについては、御案内かと存じます。先ほども少し言及しましたが、平成28年に受け入れて、日本の原子力規制政策についてレビュー・評価をしてもらい、勧告等を受けたというものでございます。これらの勧告などについて対応してきているところでございますが、その対応状況について、今度はフォローアップのミッションを受け入れるということを委員会としても決定をしたところでございまして、今後、それに向けた準備を順次進めていく必要があるということでございます。このフォローアップミッションの受け入れに向けた準備の一環といたしまして、その勧告などに対しての対応の状況を整理して、今後、説明をしていく必要があると。その対応の状況と今後の方針について整理した案を御説明するということです。

もう少し付言いたしますと、IRRSミッションから13の勧告と13の提言を受けておりまして、ミッションを受け入れるときに行った自己評価を経て、私どもとして策定した行動計画とあわせて課題を整理して、対応してきているところでございます。これらの個々の勧告などについての対応の状況、そして、今後の対応の方針、これを整理して、現状こうであると、今後こうしていきたいという方針について、まず委員会に御報告をして、今後のIRRSのフォローアップミッションの受け入れに向けた準備を進めていくと、こういうことでございます。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほかに御質問はありますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

